

Cisco 7920 ワイヤレス IP Phone の固定 SNMPコミュニティおよび開いた UDP ポート

severity	アドバイザーID : cisco-sa- 20051116-7920	CVE- 2005- 3804
	初公開日 : 2005-11-16 16:00	
	バージョン 1.0 : Final	CVE- 2006- 0374
	回避策 : Yes	
	Cisco バグ ID :	CVE- 2005- 3803

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco 7920 ワイヤレス IP Phone は IEEE 802.11b Wi-Fi ネットワークによって Voice over IP サービスを提供し、コードレスフォンと同じような形式要素があります。この製品は 2 脆弱性が含まれています:

最初の脆弱性はリモートユーザが影響を受けたデバイスの設定を読み、書き込み、消すことを可能にする固定コミュニティストリングとの SNMP サービスです。

2つめの脆弱性は非認証リモートユーザがデバッグ情報にアクセスするか、またはサービス拒否を引き起こすことを可能にするかもしれない UDP ポート 17185 の VxWorks 開いたリモート デバッガーです。

Cisco では、該当するお客様用に、これらの脆弱性に対応する無償ソフトウェアを提供しております。この脆弱性に対しては、影響を緩和するための回避策があります。

このアドバイザーは [116-7920](#) で掲示されます。

該当製品

修正済みソフトウェア

- Cisco 7920 ワイヤレス IP Phone、ファームウェアのバージョン 2.0 およびそれ以前

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

- Cisco 7920 ワイヤレス IP Phone、ファームウェアのバージョン 2.01

その他のCisco製品は現在他の IP テレフォニー 製品を含むこれらの脆弱性から、影響を受けるために知られていません。

改訂履歴

リビジョン 1.0	2005-November-16	初回公開リリース
--------------	------------------	----------

利用規約

本アドバイザーは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザーの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザーの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。